

雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌
平成27年11月1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

秋祭り バイオリンの奏

9月18～19日の2日間、当院の秋祭りが開催されました。

今回は安曇野市社会福祉協議会さんに演芸ボランティア『ピアノとバイオリンデュオ スマイル♪』さんをご紹介していただき、D病棟のホールにてステキな演奏会を行なっていただきました。生のバイオリン演奏を聴く機会はあまりないので、貴重な体験をすることができました。

演奏は秋の唱歌からクラシック、懐かしい歌謡曲まで幅広い演目で、途中にはピアノとバイオリンの演奏に合わせて一緒に歌う曲も盛り込んでいただき、参加した方も楽しみながらの演奏会となりました。

その他、各病棟ごとに秋祭りの雰囲気味わっていただきたく、たこ焼きアメリカンドック、スイートポテト、たい焼き、ドーナツなどの出店メニューを



ご用意し、患者さんにお祭り気分を味わっていただきました。あんこがたくさんでおいしかった！天きくて食べごたえがあったよ！など、普段はなかなか食べることのない、焼きだてのたい焼きや、大きなアメリカン





ドックは皆さんに大変好評でした。また、秋ということでスイートポテトも用意しましたが、女性を中心に、甘党の方々や固い物が苦手という方にも、「これなら大丈夫」と喜んでいただきました。

入院生活は季節を感じる事が難しい環境ではありませんが、秋祭りを通して「秋」をしっかりと味わっていただいた2日間になったのではないかと思います。

ど根性トマト現る

写真の通り、当院の南側の花壇にトマトが生育しました。このトマトは職員が花壇に移殖した訳ではなく、自然発生したトマトです。肥料も



与えていません。花壇を管理している患者サービス・cs委員会が抜かずに見守って来たところ、どんどん大きくなり、9月の中旬には真っ赤なトマトが実りました。早速、当院の食事療養部の調理師が、このトマトを食したところ、普通のトマトで、おいしかったとのこと。

社会生活は順風満帆に行かないこともありますが、人間も、このトマトのよつに力強く生きてきたいものです。
※花壇の整理に伴い、現在トマトはありませぬ



グループホーム 北信へ小旅行

10月6日、当院関連のグループホーム「第一飛鳥荘」と「第二飛鳥荘」のメンバーの皆さんが、北信方面へ秋の合同小旅行に行かれました。この旅行は、各荘に入居されているメンバーさんが毎回幹事となり、企画運営される恒例行事です。

まず、小布施の道の駅で昼食。そばを注文される方、小布施ならではの栗おこわこを注文される方など、各々が好きなものを召し上がりました。次に、小布施の街中を散策され、おみやげなどの買い物やオープンガーデン(民家が一般開放しているステキな庭を見るなど、街を楽しみました。

続いて、定番の善光寺へ。参道の店で買い物を買ったり、本堂でお参りをされたりと、こちらの散策も満喫されました。なお、往路復路の高速道路のサービスエリアでも、タバコを一服する方、コーヒーを一杯飲まれる方など、それぞれリラックスさ

れたようです。

遠方ならば疲れる面もありますが、北信地域は適度な距離であり、メンバーの皆さんも大変充実した一日となりました。おみやげを買った方もいろいろと楽しむようですが、皆さんも秋の北信へ一度行かれてみてはいかがでしょうか。



五味渕病院長のつばやき

サッカー選手・・・、釜本邦茂以来、日本に本当のセンターフォワードはいない



ね。本物のセンターフォワードを育てるためには、小学生の頃から才能のある子供を、バルセロナがやっている育成システムといった

防災の秋

まず、地震発生後に、火災が発生したことを想定し、初期消火訓練を行い、患者さんを含む病院全体での避難訓練を実施しました。

防火防災訓練

10月14日、豊科消防署の方の立会いのもと、本年度2回目の防火防災訓練が行われました。

① 避難訓練

英才教育を行わなければならない。

本物のセンターフォワードが出てくるようになると、ワールドカップで決勝リーグに常時出場する程度、日本のサッカーもレベルアップすると思うよ。

松本山雅は、残りの試合を全て勝っても残念ながらJ2になっちゃうね。J1に残れば奇跡だね。(平成27年10月21日現在)

② 緩降機使用訓練

避難器具の緩降機(オリロー)の使用訓練を避難器具メーカーの方のご指導を受けながら行いました。当院の3階の屋外に設置されています。

左の写真をご覧ください。使用方法です。

①両脇にベルトを通し、降下の準備をする。

②両手はロープを持たずに、両腕を下方へ下げる。

③外壁に触れることなく、自動でゆくり地上まで降りる。

体験した職員は、「3階は高いので怖かったが、非常時はとても有効な避難器具であることを学んだ。女性でも難なくできる」と、万一の事態への意識を高めました。



③ 消火栓使用訓練

当院1階

のロビーに設置されている消火栓による放水訓練を行いました。

注意点は

以下のとおりです。

①消火栓の上部にある火災報知機のボタンを押さなければ、バルブを回しても放水できない。②放水を始める際は、放水ノズルをしっかり持ったことを確認し、バルブを開く。③放水を行う者は、ノズルを手だけで持つと水圧でノズルが暴れるため、足を踏ん張り腰を入れて持ち、放水する。



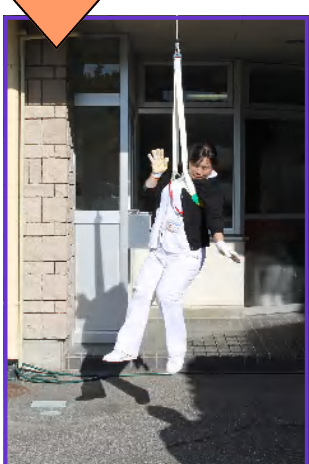
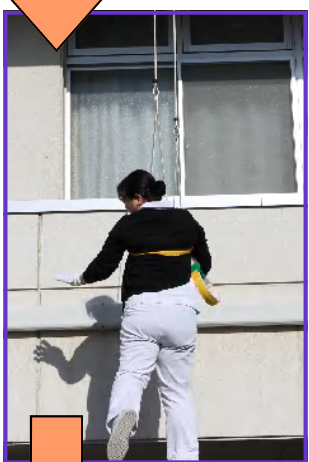
④ 消火器使用訓練

職員を中心に、消火器の使用訓練が行われ、基本的な使用方法や消火器に関する基礎知識を学びました。

消防署の方

から、天きな声で火事の発生を伝え、消火器を使用する。消火器は13秒程度しか放射しないが、火元に回りこみながら消火することも有効。

消火器にメーカーがあるものは、一度消火器を使用しても、レバーを離すと放射を停止でき、再びレバーを握ることで再度消火活動ができる」と、指導していただきました。



AED講習

9月30日、職員を対象にAED自動体外除細動器の研修会が行われました。今回は日本光電様を講師に迎え開催されました。

当院には以前からAEDが設置されておりましたが、タイプが古くなったため、今年の春に新型のものを導入しております。

まず、DVDを見て使用の流れを学習し、講師から取扱い方法や特徴の説明を受けました。新型のAEDの特徴として、①小児成人モードの切り替えが出来るため、幅広い年代に対応できること。②体に貼る2枚の電極パッドが左右どちらでも貼れること。が挙げられ、職員は実習を通じてこれらの理解を深めました。

救急法の研修会は毎年実施していますが、有事に備えて何度も研修をしていきたいと思います。



外来 医師担当表

平成27年 11月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師 又は なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師
内科	休診	ささき みほ 佐々木 美保 医師	休診	むかい ゆういち 向井 雄一 医師	きのた るみや 木野田 文也 医師 第2・第4金曜日	休診
<p>◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00 ◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで</p> <p>※ 午後は全科休診となります。 ※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。 ※ 日曜・祝日は全科休診となります。</p>						



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌『雪がた』第39号をお届けしました。お読みになっていかがでしたか？
10月下旬に白馬岳や鹿島槍ヶ岳に降っていた雪が、ついに常念岳まで南下してきました。御嶽山や八ヶ岳も初冠雪が観測されたようです。また、犀川にも、冬の使者「白鳥」が飛来し、いよいよ冬の気配を感じる頃となってきました。
それでも、安曇野の平野部ではまだ晩秋の装い。紅葉もきれいになってきましたが、最近では朝晩の寒暖差が大きいので、体調管理にはご注意ください。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。(表題の写真は当院屋上から撮影しました。)